



創刊にあたって

**一点の火は荒野を焼き尽くす、地域の伝統を守り、
文化を発展させる観光の地域づくりに努力します**

代表理事 杉本憲昭



3 年前、藤野観光協会は市の協力を得て、JR 藤野駅構内に観光案内所「ふじのね」をオープンさせました。また、今年度は国の緊急雇用対策事業を利用し、地元の観光資源を活かしたツアー企画、観光振興計画策定のための人材として 3 名の臨時職員の配置をいただき、一層の充実をみています。

さて、藤野地区は芸術の町として古くから知られていますが、その背景として、戦前からこの地域に著名な芸術家に移り住んだということがあります。その後、伝統的に文化的活動が引き継がれてきました。このような背景のもと、神奈川県は昭和 40 年代より、当時の藤野町に 2 つの大きな事業を起こしました。

1 つは、都市と農家を結ぶ農業振興政策としての、「藤野園芸ランド」(名倉地域)の創設です。これは県、藤野町、名倉地域の団体の協働によるものです。

もう 1 つは、藤野町を「藤野ふるさと芸術村」として、芸術の伝統を更に発展させ、外国人にも広く開放する事業です。この事業は藤野地域を幅広い芸術の町とすることになり、芸術はこの地区の「顔」として今日なお生き続けることになっています。

さて、藤野地区の観光事業を振り返りますと、昭和 42 年頃の藤野観光協会のパンフレットには、次のような記録があります。当時は中央自動車道が開通したところで、旅館・民宿、釣り・ボート業、陣馬山山頂の茶屋、一般商店、キャンプ場、観光農園、マス釣り場、文化財合わせて 58 軒の観光関係の業者が会員として登録されていました。

半世紀を経た今日では会員数は 80 軒を越え、藤野地区は観光の町、文化の町として発展し、更に今後の私たちの成果について、内外から期待を寄せられています。

現在、私たちは、行政にたよった観光協会 60 年の歴史から脱皮し、一般社団法人となり、自立化をめざし、活動を展開しています。私たちは内外の期待に応えるべく努力を今後も続けていきますが、皆様方の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

藤野観光協会のご案内

皆さんが「観光協会」と聞いてイメージするものはどんなものでしょうか。駅前であって、その地域の観光ポイントや飲食、宿泊施設を紹介する、そんなところでしょうか。加えて、観光地の整備事業、観光イベントの開催や共催、観光情報発信、観光客の誘致活動などの活動を行っているのが通例です。組織形態はさまざまで、一般社団法人、財団法人の形をとっているところもあれば、まったくの任意団体であるところ、自治体の組織内に組み込まれているところ、株式会社制度や NPO 法人制度をとっているところもあります。観光協会が対象とする地域も国、都道府県、市町村とさまざまです。このように一口に観光協会といっても、内実は実にさまざまであり、そのことが観光協会という存在を分かりにくくしているように思います。

さて、私たちの藤野観光協会ですが、その設立は昭和 35 年にさかのぼります。当初は藤野町役場内に設置され、行政に依存する形での運営でした。大きく変わったのは藤野町と相模原市との合併、市の政令指定都市化を経て、平成 22 年 12 月、観光協会が一般社団法人となって以来です。行政とは協力しつつも組織としては独立し、独自の理念に基づいて観光振興事業を運営しています。以下、観光協会の概要をお伝えします。

【名 称】一般社団法人藤野観光協会

【事 務 所】相模原市緑区小淵 2000 番地
(藤野総合事務所 4 階)

【役 員】代表理事・副代表理事各 1 名、理事 9 名、
監事 2 名

【会 員 数】81 団体(平成 25 年 4 月 1 日現在)

【主な事業】

藤野観光協会は、藤野地区を広く知っていただき、できるだけ多くの方に藤野地区に足を運んでいただき、観光事業を通じて地区の活性化に寄与するために、以下の事業を行っています。

(1) 藤野観光案内所「ふじのね」の運営(詳細は別掲)

(2) 会員へのサービス事業

会員の情報を HP 上に掲載して、広くその営業内容を知っていただいたり、会員が発行するパンフレット類を「ふじのね」で配布したり、各種イベント、キャンペーンなど観光情報を会員に提供したりなどしています。

(3) 独自のツアーの企画、実施

相模湖の遊覧船を使ったツアー、藤野地区の歴史に関する講演会、料理教室、ウォーキング、収穫体験、温泉など藤野にあ

る観光資源を組み合わせたツアーを実施し、交流人口の増大に努めています。

(4) 観光パンフレットの作成、発行

陣馬山のハイキングマップ、藤野を紹介するパンフレットなどの印刷物を作成、配布しています。

(5) 藤野地区内外の観光事業関連団体との連携

藤野地区の観光振興は地区内外のさまざまな関連団体との連携なしには発展が望めません。それらの団体の情報収集、協力体制の構築に努めています。

(6) 藤野地区の環境整備

公衆トイレの清掃、管理の受託など。

【財 源】藤野観光案内所「ふじのね」の販売事業受託収入、会員からの会費、観光事業収入等。国や自治体からの補助金はありません。



藤野観光案内所「ふじのね」

のご紹介

「ふじのね」は藤野駅構内にあります。藤野を訪れる人たちの情報収集基地の機能を果たすとともに、藤野に関連のある商品を販売しています。主な業務は以下の通りです。

(1) 藤野観光情報の提供

藤野を楽しむためのマップ・パンフレット、各種イベントのチラシ・ポスターなどを常設し、提供しています。

(2) 藤野観光についての相談

資料等ではなお不明な情報について、スタッフが相談に応じています。電話、メール等での問合せにも応じています。

(3) 藤野の特産物や、藤野在住の芸術家やものづくり家の作品展示、販売

ゆず製品など藤野の特産品のほか、お菓子、食べ物、飲み物、観光客向け日用品などを販売しています。

これらは観光客のお土産になるだけでなく、藤野在住の方がお出かけの際のお土産としてもご利用いただいています。

また、藤野の象徴の一つである、芸術についてはその作品を展示するとともに販売しています。

ほかにもものづくりの名手の作品や、藤野の観光に関連した書籍も販売しています。

